

エアゾール缶(スプレー缶)、カセットボンベは必ず中身を使い切ってからごみ(資源)に出しましょう。

中身が残ったエアゾール缶(スプレー缶)、カセットボンベをそのままごみ収集に出すと、ごみ収集車やごみ処理施設での引火や破損事故の原因となり、大変危険です。

① 中身の有無を確認しましょう

缶を手で振って中の音を聞いてください。中身が残っていると、『シャカシャカ』『チャプチャプ』などの音がします。

② 使い切れない物は中身を出しましょう

■エアゾール缶(スプレー缶)の場合

エアゾール缶の中身を使い切ることができない場合、必ず火気のない風通しのよい屋外で、

- シューツという音がしなくなるまでスプレーボタンを押して中身を出し切ってください。



- または、中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等を使って中身を出し切ってください。(商品に記載された使用説明を必ずご覧ください)



※この場合、ティッシュや新聞紙などに吹き付けることで、周囲への飛散にご配慮ください。

※屋内で中身を出すと、近くの火気や静電気引火することがあり危険ですのでお止めください。

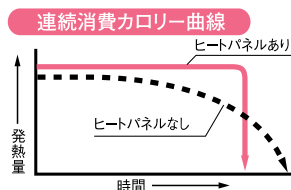
■カセットボンベの場合

(社)日本ガス石油機器工業会登録商品の
カセットこんろは2007年4月生産分より<sup>※2.3kW
(2,000kcal/h)以上</sup>
ヒートパネルを搭載しております。



ヒートパネルとは? (容器加温装置)

カセットボンベを適度に温める事で、ガス圧の低下を制御します。この働きにより、最後まで強い火力を維持し、カセットボンベ中のガスを最後まで消費することができます。



※カセットボンベを使い切れないものや、カセットボンベの処理の方法のご質問は、社団法人日本ガス石油機器工業会【カセットボンベお客様センター】
☎0120-14-9996 まで、お問い合わせください。

※カセットボンベには、[中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等]は付いておりません。

③ ルールを守ってごみ(不燃ごみ・資源ごみ/缶類、金属類など)に出しましょう

- ごみ(不燃ごみ・資源ごみ/缶類、金属類など)の出し方(「分別の仕方」等)は、お住まいの地域によって異なりますので確認して、ルールを守りましょう。